



# 橋 戸

令和 5 年 1 月 1 0 日  
学校だより 第 9 号  
練馬区立橋戸小学校  
校 長 青 木 俊 哉

## “戦”の一字から考える…

校 長 青 木 俊 哉

あけましておめでとうございます。

昨年、令和 4 年を象徴する一文字(漢字)は“戦”でした。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続き、戦争を意識せざるを得ない一年でしたし、世界には未だ内戦が収まらない国や地域が残ります。紛争や争いごとから目を離せぬ年でもありました。また、コロナや物価高との戦いなどから“戦”を意識した方も多いと感じます。“戦”という文字には、このような負の印象が強く残ります。

一方、見方を変えると、世界中を熱狂させたサッカーW杯や北京冬季五輪における熱戦に代表されるように、スポーツでの“戦い”に心を熱くした一年でもありました。そのW杯では、日本代表がドイツ・スペインという強豪 2 国に逆転勝ち、目標としたベスト 8 にはわずかに届きませんでした。心に残る戦いであったことは間違いありません。残念ながら目標達成…とはいかなかった代表選手たちですが、ヨーロッパでは既にリーグ戦を再開した国もあります。また、日本に帰ったJリーガーたちも、新たな契約を結んだり、身体作りを始めたり…先を見据え、次の“戦い”のステージに進んでいます。もちろん彼らの目線の先には、次のW杯が見えていることでしょう。

このように、“戦”という文字のもつ意味には、様々なとらえ方があります。一つの見方や一方的なとらえ方だけでは、物事を正しく解釈できなかつたり、判断を誤つたりすることも考えられます。様々な出来事、その一つ一つに対して、見方やとらえ方、見る角度によって、考え方が変わってくることを自覚させられた思いがします。

学校でも、日々様々なことが起こります。起こった出来事に対しての私たち学校の判断も様々ですし、お寄せいただくご意見や考えも同様に様々ですが、改めて多様な見方・考え方があることを大切にとらえ、学校としての“最適解”を見付けていけるよう、取り組んでまいります。

さて、今年卯年、干支は“癸卯(みずのとう)”です。ウサギと聞くと、ぴょんぴょん飛び跳ねるイメージが強く、飛躍や成長といった言葉が真っ先に浮かびます。調べてみますと、卯は“穏やか、温厚な性質”“植物の成長”を表すとも言われており、家内安全や挑戦といった言葉にもつながるそうです。また、癸は“十干の最後”の順番にあたり、“一つの物事が終わり、次へ移行する”とあります。学校としては、子供たちの飛躍や成長はもとより、安心・安全な学校づくりに努め、これまで取り組んできたことをまとめ、新たな挑戦に向け土台を築く…年の初めにあたり、そんな取組のできる一年にしていきたいと考えております。

3 学期は 53 日(1~4 年生は 52 日)の登校で今年度を締めくくります。「目の前の出来事から目を背けない」「先を見通しをもち、今と先とをつなげて考える」「物事を前向きにとらえ、一歩先に進む」ことを意識し、教育活動を進めてまいります。保護者や地域の皆様には、引き続きのご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。皆様にとって、今年がこれまで以上に良き年であることを、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。